

1月22日(金) 1000号

高知県四万十町の下元利文さん(64)は、食味の良い米の生産にこだわった稲作農家だ。長年にわたる生育調査や栽培試験を通じて、きめ細かい栽培計画を策定。自ら開発した肥料を使い、良食味米の安定生産を実現した。数々の全国の食味コンテストで入賞実績を持つ。地元の特産米を全国に通用するブランドにするために、地域の仲間と研究会を立ち上げるなど、米栽培をけん引する。

この農家に学ぶ

下元さんは特産「井田米」の産地で、県内でも有数の米どころ・旧窪川町で生産する。栽培面積は2.2畧。品種は「ヒノヒカリ」1.6畧、「こぼれ」30畧、香りの「十和餅」30畧。

地力を最重視

下元さんは「筆ごこに栽培計画を立てる。田植えはもちろんだ、除草剤散布の日や収穫日、草丈や茎数の目安まで事細かに計画を書き入れる。」「ほぼ大きな台風でも来ないかぎり、計画がずれることはない」という緻密(ちみつ)な栽培計画は6年前、収穫素を含ませ、マグネシウム

水稲

下元 利文さん(64)



高知県四万十町

県西部の四万十川上流域に位置する。温暖なイメージの高知だが、標高230mの台地の涼しい気候を生かし水稲栽培が盛ん。養豚や施設園芸の二ら、ミョウガも特産。

経営概況
労働力1人
経営規模「ヒノヒカリ」など水稲2.2畧

うまい米「百発百中」

日による食味の違い、施肥などミネラル分が多い肥料の時期や量による収量の違いなど試験を重ね、適期を割り出して作った。「これを実行することで、毎年の収量、食味を安定させることができる」と自信を見せる。栽培計画が完成した年から、10畧収量570kg、食味値87以上を維持している。

「地力を育てると、特に土づくりに力を入れる。稲わらを全量すき込み、堆肥(たいひ)も毎年、10畧に1t入れる。土壌分析は全量で行い、肥料の成分量を決める。玄米のたんぱく質含有量を抑え、食味を良くするため、出穂前15日間は窒素を施用しない。代わりに、自ら配合した肥料「井田郷マイロマン」を使う。窒素を含ませ、マグネシウム



良食味米の安定生産を実現する下元さん(高知県四万十町)

連載10回目。安全な農産物を安定供給し続ける使命を持つ農業活動の管理ポイント。①生産手段の安全②生産工程の安全③食品収扱いの安全④紹介した。①は環境と動物に配慮の実践であり、③は食品安全の実践。生産者は「農産物」を収穫した瞬間から、食品事業者としての衛生管理が求められる。その内容は、収穫と輸送の安全管理、選

GAP導入で生き残れ

リスク管理を確実に

そのものの品質管理などが、これを基にリスクの概要、病原菌、異物などの食品の危害要因を生産現場に持ち込まないこと、そのためには危害要因を農産物に接触させない管理が重要だ。病原菌は一定の水分・温度の中で急激に増える可能性があり、増殖させない衛生的な環境整備が必要だが、もし危害要因が入った場合は取り除くか、取り除けない場合は農産物を廃棄しなければならぬ。(GAP普及センター代表・田上隆一)

除草剤は1度しか散布しない。全体の成分回数も7成分以下に抑えるよう心掛ける。安全・安心を証明し、誰がいつ見に来てもいいように」と圃場(ぼやう)ごとに、栽培日誌の立て看板を作った。08年には「コファーマー」を取得した。

「井田米は県内では有名なが、全国ではそれほど知られていない。東は魚沼、西は井田と言われるようなブランド産地にした」と下元さん。井田米の中の品質のばらつきをなくすことが課題と考える。

「窪川町の米をすべて等しくお出しするため」と、06年に地域の6人の水稲農家で、「井田郷米クラブ」を結成した。自ら会長を務め、仲間とともに試験を重ねてきた。「誰がコンクールに出しても入賞できるくらい、クラブ内の品質は統一された。今後は、この技術を広めていきたい」と強い意気込みを見せる。



地域の先導役

「井田米は県内では有名なが、全国ではそれほど知られていない。東は魚沼、西は井田と言われるようなブランド産地にした」と下元さん。井田米の中の品質のばらつきをなくすことが課題と考える。

「窪川町の米をすべて等しくお出しするため」と、06年に地域の6人の水稲農家で、「井田郷米クラブ」を結成した。自ら会長を務め、仲間とともに試験を重ねてきた。「誰がコンクールに出しても入賞できるくらい、クラブ内の品質は統一された。今後は、この技術を広めていきたい」と強い意気込みを見せる。

安全・安心花きでも

日本花き生産協 IPMなど検討を

日本花き生産協(カネネ部会)が、IPM(総合的有害生物管理)などを経営に「根拠の一つ」として、合わせて導入するも選

ロンジブ視察についても報告があった。栽培や収穫後の管理技術がマニュアル化され、品質の良い切り花を日本向けに輸出する同国の経営を紹介した。部会技術顧問の宇田



コンバインのシリーズ充実
ヤンマー発表会
ヤンマーは21日、2010年度上期に本格的に売り出す新商品発表会を神戸市で開いた。来年度から始まる米戸別所得補償

こんな美味し焼酎!! 試しに飲んでみましょうよ!!

本格焼酎 年間売上 250万本突破

全国送料無料

本格焼酎 ひびこれざいほう

日は財寶



お申込みされた方にもれなく

本焼 深さか さつま さつま